

再生協議会の後継組織と活動について(案)

<趣旨>

令和3年度に活動を終える再生協議会の事業を継承し、「元気なコミュニティ」に取り組む自治会をベースにした新組織の発足を目指す。学校・社会教育分野での町・教育委員会の支援、協力を得る

<再編の骨格>

- ・一色小学校区で町、教育委員会の支援・協力を得て、「地域とともにある学校づくり」と社会教育を含めた「学校を核とした地域づくり」を推進する
- ・学校づくり(CS支援)、住民の生涯教育に力を入れ、「自立運営」を目標にしたコミュニティ活動を継承する
- ・新組織は地区内自治会を基盤に構成し、地域としての一体感を醸成しつつ、他の広域課題についても連携・協力する

<名称>

一色小学校区・元気なコミュニティ協議会(仮称)

<構成主体>

- ・地区内全自治会(百合が丘、県公社、県営、緑が丘各自治会、一色地区会)
- ・その他賛同地域団体、県住宅供給公社、有力個人
(一色小、町、教育委員会とは必要に応じ連携・協力する)

<活動体制>

- ・活動テーマごとに部会を設け、事業方針の決定、活動調整の態勢を築く
- ・例えば、学校支援部会(地域学校協働本部)、友情の山部会、こうりゅう塾(生涯学習)部会、音楽活動部会、健康散策部会、(地域福祉部会(いちふく))など
⇒組織、人員構成等はこれから

<事業活動助成>

(1) 二宮町・教育委員会

- ・学校支援部会については、活動内容に沿って現放課後子供教室等の支援方式で
- ・再生協議会事業の継承、生涯教育領域の活動は、内容に応じて放課後子供教室等の支援を適用する
⇒町、教育委員会が助成・サポートする活動の範囲、規模、助成方式、やり方等未定
- ・町が所有・管理する施設・スペースの利活用、その他公益性のある事業での協力継続

(2) 地区内自治会

- ・「生涯教育」をテーマに活動してきた百合が丘・一色生涯学習推進会の再編を機に、緑が丘自治会に参画を要請し、同推進会を新発足組織の母体とする